

令和元年度 第2回岡山市子ども・子育て会議 (議事録/要約)

日時：令和元年9月6日(金)午後1時30分～午後2時20分

場所：岡山市役所本庁舎7階大会議室

## 開会

- ・局長挨拶
- ・成立確認・・・委員20名中19名出席にて定足数を充足し、成立を確認。
- ・委員自己紹介
- ・子ども・子育て会議の概要について説明
- ・会長・副会長の選任
- ・会長挨拶

## 議事

議事進行は会長

- (1) 岡山市子ども・子育て支援事業計画における量の見込みと確保方策(案)について

[事務局から資料に沿って説明]

委員 アンケートのアンケート先、件数、回収率を確認したい。

事務局 アンケートは、今年の1月に実施したもので、市内に居住する0歳から6歳までの児童がいる家庭、5,000世帯を対象に行った。この5,000世帯のうち、有効回収数は2,869世帯、回収率は57.4%であった。

委員 2ページの8番、一時預かり事業について、実績が急激に万単位で落ちている。このようなことが起こった理由が聞きたい。また、3ページの第二期計画では、大体5万人前後の推移を見込んで確保方策を立てているが、この見込みで確かなのか。保育の量の提供の仕方によって、一時預かり事業や、9番の延長保育事業は人数が変動する可能性があると思うのだが。

事務局 平成28年度から育児休業中も子どもを保育園に預けることができるように制度が変わった。それで、一時預かりを利用しなくてもよくなったということが一つの大きな要因ではないかと分析している。

事務局 もう一つお尋ねいただいた、一時預かり事業と延長保育事業は、おっしゃられたとおり、一番最初の項目の保育に影響されて数字が上がったり、下がったりする。保育のニーズはアンケート結果で、すごく大きい数字が出ており、令和2年では23,244人（P3一番上）ということで、平成31年度春の入園申し込みが18,284人であったので、大きく上振れしている。

しかし、その数字がたちまち顕在化というか、全員がいきなり来年の春に申し込みをするとは考えていないので、確保方策としては、800人の整備を3年間して、令和2年から令和4年度までで2,400人の整備をしたいという計画を立てている。それにつれて、延長保育だと増えるというような、そういう見方をしていただければと思う。

委員 たくさん良い施策をしても、知られていなければ利用できないので、広報の仕方なども考えてほしいと思う。

会長 （2）その他として、なにかあるか。

委員 保育園の提供区域が30から36に増えた。この6カ所増えたという議論は、この子ども・子育て会議で、議論がされたのか。

事務局 公立の認定こども園の整備数は教育・保育提供区域ごとに1つずつ、30の整備という方針でこれまで動いていたが、先般の議会の中で市長から中学校区の36という数について今後検討する必要もあると、答弁があったところ。提供区域は30だが、整備数は36で検討する。

この会議の中で数の議論ということについては、前回6月3日開催の保育部会で、公立の幼保連携型認定こども園の整備の関係や、民営化の進捗などについて、思いどおりに進んでいないという報告をさせていただいた。また、この秋までに実効性のある方策を検討するという方針を示しており、公立の認定こども園の整備については、中学校区に1つは整備をしたほうがいいのではないのかといったご意見が非常に多いことや、公立の認定こども園の候補園が2つあるような並列区域において、特に協議が進めにくいといった課題があるということ、説明させていただき、委員さんからは、さまざまなご意見をいただいた。

課題等の洗い出しや、それに対する方策などについて、一定の整理がついたので、この後の保育部会で説明させていただきたい。

会長 他にあるか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

閉会